



大迫力を体験!!
エアームエモリアル



4月27・28日、海上自衛隊鹿屋航空基地などで「エアームエモリアルinかのや2019」が開催されました。27日に佐世保音楽隊演奏会や体験搭乗が行われ、28日の航空ショーには全国から22,000人が来場。P-3C哨戒機の編隊飛行や民間機のアクロバット飛行が航空ファンを魅了し、「ミニP-3C」型ミニバイクのデモンストレーション等が会場を盛り上げました。



クリアファイルで
かごしま国体をPR

4月19日、祓川小学校で、「燃ゆる感動かごしま国体・かごしま大会」PR用クリアファイルの贈呈式が行われました。式では、プロサイクリングチーム「シエルブルー 鹿屋」の選手・監督らから1・2年生へクリアファイルを贈呈。受け取った児童はうれしそうな顔を浮かべていました。なお、このクリアファイルは市内全ての小中学生に配布されています。



園児の元気な歌声で
ばら祭りスタート!!

4月27日、かのやばら園で、「かのやばら祭り2019春」が始まりました。同日に行われたオープニングセレモニーに参加したのは、認定こども園南部幼稚園の園児たち。「おはながわらった」や「かのやばらいろロック」の曲を元気に歌い上げ、来園者に笑顔を与えてくれました。「かのやばら祭り2019春」は、6月2日(日)まで開催されています。



4月にホタル!?
王子町で光の舞

4月中旬、和田井堰公園で、光輝くホタルが飛び交い始めました。このホタルは、王子町のホタル愛好会が、約4,600匹のゲンジボタルを飼育し昨年11月に放流したもの。今年は例年よりホタルの成長が早く、5月にかけて多くの家族連れが同園を訪れ、初めて見るホタルに感動の声をあげる子どもたちの姿が見られました。



最新の設備で食の
多様なニーズに対応

4月19日、田崎町で、鹿児島くみあい食品株式会社鹿屋工場の落成式が行われました。同工場では、最新の設備を備え、ばれいしょ、にんじん等のチルド商品やさつまいもの冷凍食品など付加価値を高めた1次加工品を製造し、食の多様なニーズに対応。新規雇用の創出や、生産農家の経営安定と生産基盤の拡大が期待されます。



「日本版DMO」に
正式登録

4月17日、観光地域づくりの舵取り役を担う法人である「日本版DMO」に正式登録された株式会社おおすみ観光未来会議に、国から登録証が交付されました。現在、「日本版DMO」には123法人が登録され、県内では3例目。大隅地域4市5町の一元的な情報発信・プロモーションを行うなど、観光地経営に特化した組織として、今後の活躍が期待されます。



国体のボート競技場
にアジサイを植栽

4月21日、地域住民やボート関係者ら約40人が、輝北ダム平房公園内にアジサイの苗350本を植栽しました。これは、来年開催の「燃ゆる感動かごしま国体」に全国から訪れる人を花で歓迎するために行われたもの。9月のボート競技開催時期まで見られる品種も植えられ、平南町内会の竹下光政会長は、「みんなで国体を盛り上げていきたい」と話しました。



輝北の自然の中を
ハイキング

4月29日、輝北うわば公園で、「輝北グリーンハイキング」が開催されました。これは公園内のコースを参加者が自由にハイキングするイベント。当日はあいにくの悪天候でしたが、参加者は思い思いにハイキングを満喫し、地元の特産品等が当たる抽選会も行われるなど、楽しい一日を過ごしました。



25回の節目を迎えた
吹奏楽団の演奏会

4月21日、市文化会館で、「鹿屋吹奏楽団第25回定期演奏会」が開催されました。この日は、約50人の団員が3部構成に分けて10曲以上の演奏を披露し、迫力の演奏や曲に合わせて小道具を使い分ける細やかな演出などで観客を魅了。演奏が終わると、客席から送られた割れんばかりの拍手が館内に響き渡りました。



ひまわりを育てて
思いやりを育む

4月22日、高隈小学校で、24日、輝北小学校で、「人権の花」運動の開校式があり、ひまわりの種が児童に贈られました。これは人権の花「ひまわり」を育てることで、優しさや思いやりのある心が育まれることを願い毎年開催されているもの。高隈小学校では竹下和真さん(6年)が代表して、「一人ひとりの人権を大事にしていきたい」と挨拶しました。



C&K凱旋ライブに
8千人が熱狂

4月20日・21日、串良平和アリーナで、2人組ボーカルユニットで「かのやばら大使」の「C&K」のライブが開催されました。メンバーのKEENさんは串良町出身で、地元・串良町でライブを開催するのは今回が初めてのこと。市内外から約8,000人のファンが集まり、魅力あふれる2人の歌声に、会場は熱狂の渦に包まれていました。